



CS通信

北海道余市養護学校
学校運営協議会
第1号

発行：令和4年7月8日

コミュニティ・スクールがスタート！！

令和4年6月3日（金）13時から、本校（余市町）と分校（黒松内町）をオンラインで結び、令和4年度余市養護学校第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を開催しました。当日は、本校と分校合わせて14名の委員の皆様をお迎えし、学校経営方針の説明や熟議を行いました。学校長の学校経営方針の説明では、コロナ禍において教育活動の在り方が大きく変革する中でも、「指導の根拠を明確にし、指導する教員が自分の言葉で専門性を持って説明できる！」教育を推進するとともに、コミュニティ・スクールとして、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」を目指した取組を進めながら、子ども達の豊かな成長を育むこと等に対し、委員の皆様から承認を得ることができました。その後、本校と分校に分かれて「コロナ禍における地域と連携した教育活動の推進」をテーマに熟議を行い、委員の皆様から、次のような御意見をいただきました。



【本校部会の様子】

本校部会テーマ「感染症対策を講じながら、地域と繋がりある教育活動を充実させるための方策」

始めに、余市紅志高等学校長生田様より、地域との連携活動として、「余市紅志高校地域創成コンソーシアム」と「農福連携コンソーシアム」について御説明いただきました。農作業や地域食材の活用などで地域とつながりながら、生徒の職業観を高める取り組みです。さらに、本校の児童生徒と余市紅志高等学校の生徒が、農作業や収穫などを一緒にできるような活動を探っていきたくと御提案いただきました。

続いて、余市紅志高等学校への視察を通して、本校高等部で一緒に取り組みたいと考えている教育活動について発表しました。花苗の育成、余市紅志高等学校のジャムに添える木製スプーン製作、高等部祭でのパネル交流、レクリエーション交流などです。



【余市紅志高校への視察の様子】

- ・小樽市とのつながりも考えたい。
- ・日体大附属高専支援学校の実践が参考になる。
- ・十勝の農福連携が参考になる。
- ・新篠津高等養護では、ふるさと納税の商品を出している。

磯貝 隆之 様

- ・農業と福祉に係わる職業種が広がることを望ましい。
- ・COOPの実践例が参考になる。

生田 仁志 様

- ・ココファームの実践が参考になる。

中井 寿夫 様

- ・小学部段階から社会と繋がる活動をしてほしい（保護者の見通しにもなる）。
- ・職場実習の回数を増やすと良い。
- ・見える学校づくりを推進してほしい。

山形 亜希子 様

- ・支援学校は就労支援を積極的に進めてほしい。
- ・学校の取り組みを外に発信してほしい。

伊藤 寿佳子 様

- ・余市紅志高校の農作業に本校生徒と一緒に取り組んでほしい。

曾根 嘉代 様

- ・実習先の企業が増えていくと良い。
- ・生徒の選択肢が増えたと良い。

松川 あや子 様

- ・学校のためにお手伝いできることがあれば、できるだけ手伝いたい。

足立 拓将 様



【本校部会の熟議の様子】



【高等部「職業」の様子】



【高等部「職業」の様子】

貴重な御意見や御助言、ありがとうございました！

分校部会テーマ「地域と連携した教育活動の充実に向けて」

分校部会の熟議では、委員の皆様からコミュニティー・スクールの導入にあたり、「地域と連携した教育活動の充実に向けて」をテーマとし、次のような御意見をいただきました。

- ・入所生にとって、町の人に感謝される経験が大事。そのような機会をつくっていくことが大切だと思う。
- ・児童生徒にやって欲しいことが、子どもたちがやりたいことであることが重要である。そのために、いろいろな選択肢を用意できるとよい。
- ・以前、町内会10区子ども会で、年に一度程度の頻度で廃品回収をしていた。新聞や一升瓶などを回収してもらえると嬉しい。
- ・町内のサークルの一覧があると、それを見ながら教育活動に生かすことができる地域のイベントやサークルが分かり、活動に参加できると思う。
- ・外注の発想は町の中にはないと思う。学校から「こんなことができる」といったPR活動が必要である。具体的には、学校だより等で学校の様子を町内に発信できるとよい。



【分校部会の熟議の様子】
(手前から小谷委員、金石委員、内山委員)



【分校部会の熟議の様子】
(左から富樫委員、岡久委員)

貴重な御意見や御助言、ありがとうございました！

学校長より、まとめの御挨拶

本日は、貴重なご指摘やご意見を賜り、本当にありがとうございました。
新型コロナウイルス感染症は、人とのつながりを分断し、子どもたちの教育活動に多くの影響を及ぼしました。しかし、学校運営協議会を通じて、学校により光が差し込んだと思います。ウィズコロナ時代に保護者、地域、学校が一体となり、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」の答えを探したいと考えております。

今後も、本校と分校、それぞれの地域と連携した教育活動の充実を目指し、学校経営を進めて参ります。



【辻山校長からの挨拶】

【編集後記】

- ・御意見や御感想等がありましたら、下記にアクセスするか、右の二次元バーコードからフォームを読み込み、お知らせください。お待ちしております。
- ・今後も、地域と繋がり合う余市養護学校をめざしていきますので、どうぞよろしくお願いします。

【 <https://forms.gle/cKaKpFMZbccod58u6> 】

